

区分	予算額	増減
一般会計	67億9100万円	1.1%
特別会計（合計）	15億2311万3千円	2.8%
国民健康保険事業	5億8743万6千円	7.1%
後期高齢者医療事業	1億3833万4千円	5.3%
介護保険サービス事業	408万5千円	2.0%
公共下水道事業	7億7449万2千円	1.3%
地方卸売市場事業	1489万円	2.6%
公共用地先行取得事業	387万6千円	2.5%
合計	83億1411万3千円	1.4%
老人保健事業特別会計は廃止となりました。		
企業会計		
水道事業会計	4億9327万1千円	4.7%
収益的支出	3億1195万8千円	0.6%
資本的支出	1億8131万3千円	12.5%

平成23年度一般会計、6つの特別会計、上水道事業会計の各予算が3月の第1回定例町議会で審議され成立しました。当初予算はこの1年間で町がどのくらいの収入を見込んで、そのお金をどのような分野で生かしていくのかを示します。いわば1年間のまちづくりの取り組みを映すものです。

4月号は、その新年度予算の概要や、まちの方向性を示す「町政執行方針」の3つの重点施策を紹介します。

平成23年度 まちづくり 新年度予算案を読む

一般会計は微増
特別会計含むと1.4%増

一般会計⁽¹⁾は、67億9100万円、前年度当初予算と比べ、1.1%（7600万円）増となりました。

継続事業を維持しながら新たに実施される子宮頸がん予防接種、中学校統合に伴う校舎の増改築実施設計や学校給食センターの改築に向けての調査を見込み、世界中から訪れる外国人観光客に対する新たな観光事業やひらふスキー場開場50周年記念事業などを盛り込みました。

物件費や施設管理費などを極力抑制した堅実な予算編成で、微増ながらも5年連続で前年度を上回りました。

一般会計と6特別会計⁽²⁾を合わせた予算総額は前年度当初予算額81億9665万8千円から1.4%増の83億1411万3千円です。一般会計のうち、歳入（収入）は、全体の35.4%を占める地方交付税⁽³⁾が24億6000万円、前年度当初より0.5%（1150万円）増。次いで28.3%を占める町税⁽⁴⁾は19億2257万8千円で、前年度当初比3.9%（7223万8千円）増となりました。

語句解説

1 一般会計
町税などを主な収入財源として、行政運営の基本的な経費や事務事業を網羅して経理する会計です。

2 特別会計
特定の事業を行う場合や特定の収入に基づいた事業を行う場合、その事業に関する経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置しています。
俱知安町は次の6特別会計を設けています。

国民健康保険事業 後期高齢者医療事業 介護保険サービス事業 公共下水道事業 地方卸売市場事業 公共用地先行取得事業

3 地方交付税
国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の一定割合を総額として、地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるよう、一定の基準により国が交付する税（交付金）です。

4 町税
税金にはその性質や内容により、国、県、市町村それぞれに対して納められるものがあり、その中で町に納められるものを「町税」といいます。主なものは、町内に住所のある皆さんに納めてもらう「町民税」や町内に資産を持っている人に納めてもらう「固定資産税」などのほか、「軽自動車税」「入湯税」「町たばこ税」などがあります。